

平成22年度

武蔵野市予算の概要

平和な未来を市民とともに育む予算

平成22年2月

武蔵野市

目 次

1	編成方針	1
2	予算のポイント	1
3	予算規模	2
	(1)一般会計予算規模	2
	(2)会計別予算規模	3
	(3)水道事業会計予算規模	5
4	予算の状況（一般会計）	6
	(1)歳入の概要	7
	(2)歳出の概要	10
	(3)基金と市債	14
5	複数年度にわたる建設事業	16
6	特徴ある事業	20
	1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	22
	2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	26
	3 持続可能な環境共生都市づくり	31
	4 活力ある都市を目指して	35
	5 安全・安心なまちづくり	38
	6 市民文化の創造へ向けて	40
	7 新たなまちづくりの時代へ	42
	8 都市のリニューアルの推進	48
	9 市民との協働時代へ向けての取組み	49
	10 健全な財政運営と市役所改革の推進	51

※計数については変わることがあります。

1 編成方針

平成22年度予算は、「平和な未来を市民とともに育む予算」と位置付け、計画3年目となる第四期長期計画・調整計画の事業を着実に実行するため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成した。

また、効率的な行政経営を目指し健全な財政運営を維持するため、事務事業及び補助金の見直しを実施したほか、経常経費では前年度予算額の1%を減額した額を限度とする枠配分方式による予算編成を引き続き全庁で試行するなど、内部努力による経費の節減を行った。

2 予算のポイント

◎ 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

介護保険施設整備事業／地域リハビリテーション推進事業／乳がん検診

◎ 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

認証保育所の新設／境こども園（仮称）開設準備／学童クラブの小学校内への移転

◎ 持続可能な環境共生都市づくり

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業／水と緑のネットワーク事業

◎ 活力ある都市を目指して

観光推進機構（仮称）設立事業／プレミアム付商品券事業

◎ 安全・安心なまちづくり

上水道耐震化工事／合流式下水道改善事業／新型インフルエンザ対策

◎ 市民文化の創造へ向けて

武蔵野市平和施策懇談会／ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業

◎ 新たなまちづくりの時代へ

第五期基本構想・長期計画策定／NEXT－吉祥寺活性化事業

◎ 都市のリニューアルの推進

交通バリアフリー基本構想の改定／市民交通計画等の改定

◎ 市民との協働時代へ向けての取組み

分権と協働の時代における自治体運営の検討／八幡町コミュニティセンターの建替え

◎ 健全な財政運営と市役所改革の推進

事務事業見直し／補助金見直し／財団法人との連携

3 予算規模

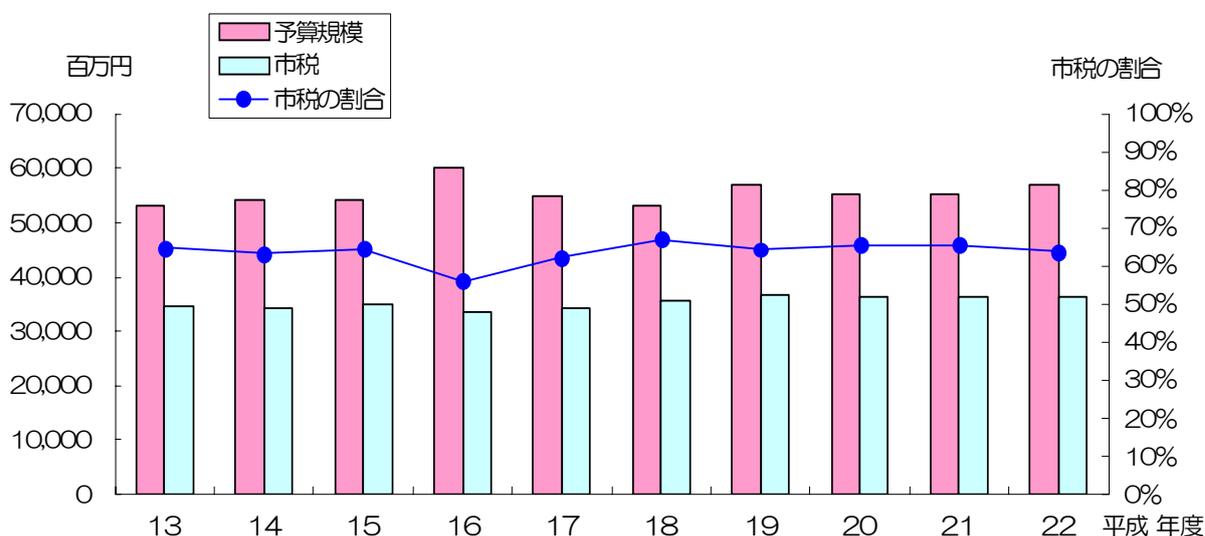
一般会計の予算規模は、小中学校施設の耐震工事や公園用地購入費などの投資的経費が減少したものの、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業費や子ども手当支給事業の増などにより、前年度比3.2%、17億4,000万円の増、総額569億4,000万円となった。

(1) 一般会計予算規模

(単位：千円)

	平成22年度	平成21年度	比較	増減率 (%)	
				22年度	21年度
一般会計	56,940,000	55,200,000	1,740,000	3.2	△ 0.1

一般会計予算規模と市税の推移



年 度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
予算規模	53,300	54,200	54,300	60,300	54,800	53,100	56,950	55,280	55,200	56,940
伸 び 率	1.7	1.7	0.2	11.0	△ 9.1	△ 3.1	7.3	△ 2.9	△ 0.1	3.2
市 税	34,560	34,364	35,001	33,700	34,129	35,608	36,670	36,268	36,257	36,341
伸 び 率	2.8	△ 0.6	1.9	△ 3.7	1.3	4.3	3.0	△ 1.1	0.0	0.2
市税の割合	64.8%	63.4%	64.5%	55.9%	62.3%	67.1%	64.4%	65.6%	65.7%	63.8%

※ 平成16年度の予算規模は減税補てん債借換債を含んだ金額

〔主な増減内容〕

- 増 ○ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業
 ○子ども手当支給事業
 ○国民健康保険事業繰出金

- 減 ○小中学校施設改修工事
 ○公園用地購入費
 ○調理場改修工事

(2) 会計別予算規模

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で836億5,701万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では790億999万円となった。

(単位：千円)

区分	平成22年度	平成21年度	比較	増減率 (%)	
				22年度	21年度
一般会計	56,940,000	55,200,000	1,740,000	3.2	△ 0.1
下水道事業会計	3,579,486	2,596,798	982,688	37.8	△ 9.7
国民健康保険事業会計	11,372,282	11,445,551	△ 73,269	△ 0.6	0.6
老人保健(医療)会計	22,772	29,254	△ 6,482	△ 22.2	△ 97.9
後期高齢者医療会計	2,738,432	2,640,377	98,055	3.7	2.1
介護保険事業会計	9,004,034	8,683,090	320,944	3.7	5.6
総計	83,657,006	80,595,070	3,061,936	3.8	△ 1.4
純計	79,009,985	76,408,860	2,601,125	3.4	△ 0.5

【参考】

(単位：億円)

区分	平成22年度	平成21年度	比較	増減率 (%)	
				22年度	21年度
国の一般会計	922,992	885,480	37,512	4.2	6.6
地方財政計画	821,268	825,557	△ 4,289	△ 0.5	△ 1.0
東京都の一般会計	62,640	65,980	△ 3,340	△ 5.1	△ 3.8

※ 地方財政計画：毎年度の地方公共団体の歳入及び歳出総額を見込む計画

〔特別会計の主な増減理由〕

下水道事業会計

合流式下水道改善事業の土地購入費、管きょ築造工事費の増などにより、歳出規模は前年比で増となった。

国民健康保険事業会計

歳入では、一般被保険者の療養給付費の増加に伴い国庫負担金が増加したが、平成20年度分の精算に伴い前期高齢者交付金及び共同事業交付金が大幅に減少した。また、歳出では平成20年度分の精算に伴い老人保健拠出金が増大し、共同事業拠出金が大幅に減少した。

老人保健（医療）会計

歳入では、前年度概算払いされなかった国庫支出金、都支出金の精算払いが行われる。歳出では、過年度分の医療給付費等の支出があるが、予算額は減少している。

後期高齢者医療会計

被保険者数の毎年の増加及び保険料の見直しに伴い、歳入・歳出共に増加しているが、制度開始3年目になりシステム稼動が安定してきたため、総務費が減少している。

介護保険事業会計

歳出では、要介護認定者の増加や特別養護老人ホームさくらえん（仮称）などの施設開設により、介護給付費の増加を見込んだ。介護給付費の増大に伴い、歳入についても、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金の増加を見込んだ。また、介護給付費等準備基金繰入金、及び報酬改定に伴う第4期介護保険料上昇の抑制を目的とした介護従事者処遇改善臨時特例基金からの繰入れを行う。

(3) 水道事業会計予算規模

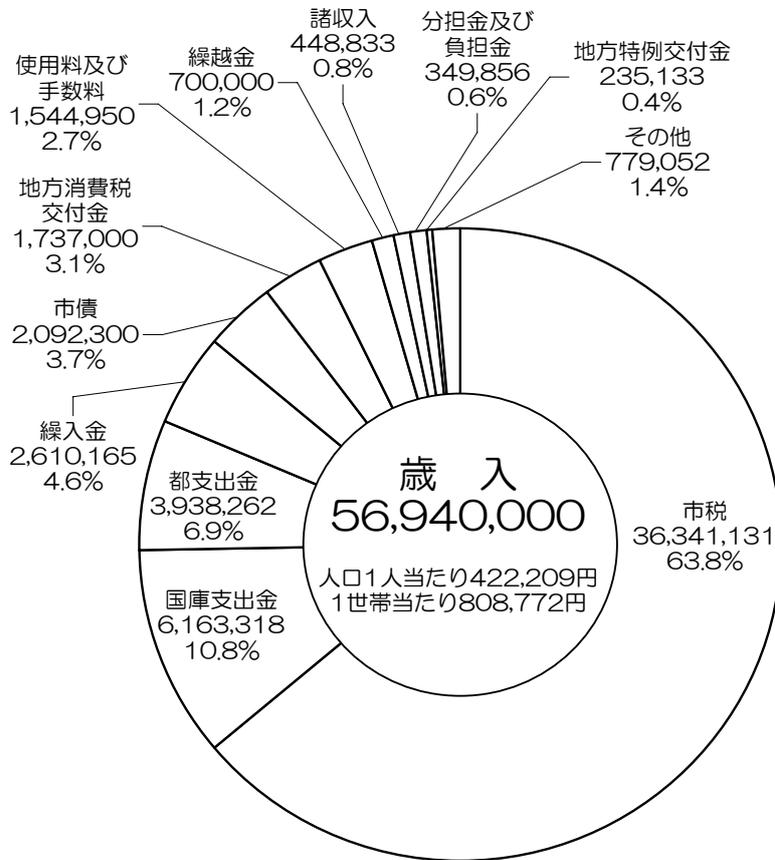
(単位：千円)

区 分	平成22年度	平成21年度	比較	増減率 (%)	
				22年度	21年度
収益の収入	3,728,421	3,556,615	171,806	4.8	△ 0.4
収益の支出	3,690,109	3,546,114	143,995	4.1	0.5
資本の収入	16,770	330,335	△ 313,565	△ 94.9	29.5
資本の支出	1,068,515	1,594,212	△ 525,697	△ 33.0	△ 12.8

4 予算の状況（一般会計）

平成22年度 歳入予算構成比

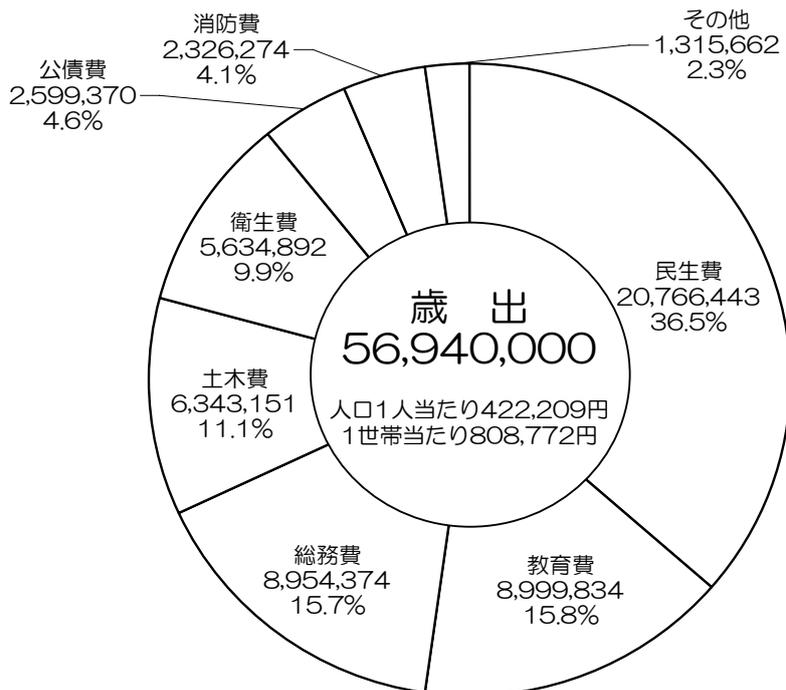
[単位：千円]



【その他の内訳】

地方譲与税	202,050	0.4%
財産収入	199,792	0.4%
利子割交付金	178,000	0.3%
自動車取得税交付金	80,010	0.1%
配当割交付金	65,000	0.1%
株式等譲渡所得割交付金	37,000	0.1%
交通安全対策特別交付金	17,000	0.0%
地方交付税	100	0.0%
寄附金	100	0.0%

平成22年度 歳出予算構成比



【その他の内訳】

商工費	517,868	0.9%
議会費	413,657	0.7%
諸支出金	190,696	0.3%
予備費	100,000	0.2%
農業費	55,318	0.1%
労働費	38,123	0.1%

※ 平成22年1月1日現在の人口（134,862人）・世帯数（70,403世帯）による

(1) 歳入の概要

○市税については、景気動向の影響による個人市民税、法人市民税の減があるものの、固定資産税（償却資産）等の増が見込まれるため、前年度予算額に比べ約8,400万円（0.2%）の増となる。

○子ども手当、生活保護費の国の負担分の増などにより、国庫支出金が前年度予算額に比べ、約13億5,100万円（28.1%）の増となる。

○各種基金等からの繰入金が前年度予算額に比べ約3億3,600万円（14.8%）の増、市債が約1億5,200万円（7.9%）の増となる。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成22年度 予算額 (A)	平成21年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C) / (B)	構成比率 (%)	
					22年度	21年度
1 市 税	36,341,131	36,257,098	84,033	0.2	63.8	65.7
2 地 方 譲 与 税	202,050	213,000	△ 10,950	△ 5.1	0.4	0.4
3 利 子 割 交 付 金	178,000	264,000	△ 86,000	△ 32.6	0.3	0.5
4 配 当 割 交 付 金	65,000	92,000	△ 27,000	△ 29.3	0.1	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	37,000	35,000	2,000	5.7	0.1	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,737,000	1,959,000	△ 222,000	△ 11.3	3.1	3.5
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	80,010	168,000	△ 87,990	△ 52.4	0.1	0.3
8 地 方 特 例 交 付 金	235,133	382,459	△ 147,326	△ 38.5	0.4	0.7
9 地 方 交 付 税	100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,000	17,000	0	0.0	0.0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	349,856	322,384	27,472	8.5	0.6	0.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	1,544,950	1,582,816	△ 37,866	△ 2.4	2.7	2.9
13 国 庫 支 出 金	6,163,318	4,812,512	1,350,806	28.1	10.8	8.7
14 都 支 出 金	3,938,262	3,481,632	456,630	13.1	6.9	6.3
15 財 産 収 入	199,792	233,055	△ 33,263	△ 14.3	0.4	0.4
16 寄 附 金	100	100	0	0.0	0.0	0.0
17 繰 入 金	2,610,165	2,274,065	336,100	14.8	4.6	4.1
18 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.2	1.3
19 諸 収 入	448,833	465,779	△ 16,946	△ 3.6	0.8	0.8
20 市 債	2,092,300	1,940,000	152,300	7.9	3.7	3.5
計	56,940,000	55,200,000	1,740,000	3.2	100.0	100.0

○市税の状況

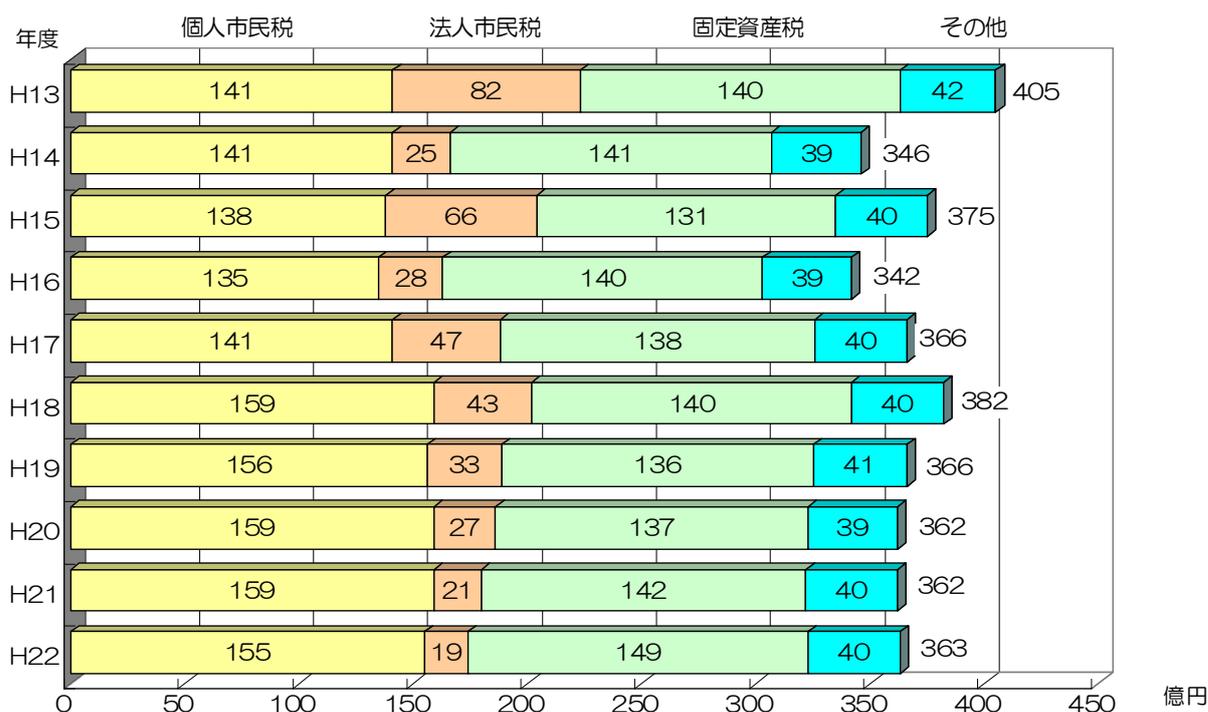
平成22年度の市税収入は約363億4,100万円、前年度当初予算額に比べ約8,400万円（0.2%）の増となった。

個人市民税は、大型マンション完成に伴う転入による増収はあるものの、景気悪化の影響が大きく、減を見込む。法人市民税についても、経済の状況が改善されないため減の見込みである。固定資産税は、土地については負担調整措置による増、家屋については新增築・滅失家屋の異動による増、償却資産については大規模償却資産にかかる東京都課税分が発生しないことにより増となる。

（単位：千円）

区分（税目）	平成22年度 予算額	平成21年度 予算額	比較	増減率（%）	
				22年度	21年度
市民税 個人	15,523,200	15,951,472	△ 428,272	△ 2.7	1.0
市民税 法人	1,870,700	2,090,070	△ 219,370	△ 10.5	△ 28.1
固定資産税	14,947,800	14,198,425	749,375	5.3	4.1
軽自動車税	36,130	35,640	490	1.4	3.6
市たばこ税	950,000	990,000	△ 40,000	△ 4.0	3.1
入湯税	1	1	0	0.0	0.0
事業所税	622,000	634,000	△ 12,000	△ 1.9	△ 2.8
都市計画税	2,391,300	2,357,490	33,810	1.4	3.0
計	36,341,131	36,257,098	84,033	0.2	0.0

市税額の推移



※ 平成20年度までは決算額、平成21年度は決算見込額、平成22年度は当初予算額である。

〔その他の主な費目の増減内容〕

利子割交付金

預貯金の利子等に課税される都民税利子割から、市町村の収入割合に応じて交付される。

利子所得は一律20%課税され、このうち15%が国税、5%が地方税となる。地方税として都道府県に収納される利子割額の3/5を、市町村にそれぞれの都道府県民税の収入割合に応じて交付される。昨今の金利の低下等により、8,600万円、32.6%の減となる。

地方特例交付金

臨時的な財源措置として国から交付されるもので、児童手当及び子ども手当特例交付金及び減収補てん特例交付金がある。

子ども手当創設等の財源措置である児童手当及び子ども手当特例交付金、住宅借入金等税額控除による個人市民税の減収を補てんする減収補てん特例交付金、自動車関連諸税の減税に伴う自動車取得税交付金の減収補てん特例交付金がある。平成21年度まで交付されていた特別交付金が廃止されたため、全体としては1億4,700万円、38.5%の減となる。

国庫支出金

国から市への支出金で、法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。

扶助費の増に伴う障害者自立支援給付費負担金、生活保護費負担金、子ども手当負担金の増などにより、約13億5,100万円、28.1%の増となる。

都支出金

都から市への支出金で、国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。

扶助費の増に伴う障害者自立支援給付費負担金、子ども手当負担金の増のほか、国勢調査事務委託金の増などにより、約4億5,700万円、13.1%の増となる。

繰入金

市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。

学校施設整備基金繰入金が減になる一方、公共施設整備基金繰入金、財政調整基金繰入金の増などがあり、全体として約3億3,600万円、14.8%の増となる。

市債

市の借金にあたるもの。投資的経費等に必要ない財源を調達するために借入れを行う。

ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス建設事業債等の増により、1億5,200万円、7.9%の増となる。

(2) 歳出の概要

- 武蔵野市行財政集中改革プランや職員定数適正化計画等に基づき、事務事業の廃止・縮減を行うなど経費節減を図った。
- 補助金評価委員会の提言を踏まえ、すべての補助金の再評価を行った。
- 経常経費は前年度予算額の1%を減額した額を限度とした。ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス建設事業や子ども手当支給事業の増などにより、総額で17億4,000万円の増となった。

①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としている。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成22年度 予算額 (A)	平成21年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					22年度	21年度
1 議会費	413,657	452,478	△ 38,821	△ 8.6	0.7	0.8
2 総務費	8,954,374	8,716,712	237,662	2.7	15.7	15.8
3 民生費	20,766,443	17,542,269	3,224,174	18.4	36.5	31.8
4 衛生費	5,634,892	6,116,492	△ 481,600	△ 7.9	9.9	11.1
5 労働費	38,123	43,608	△ 5,485	△ 12.6	0.1	0.1
6 農業費	55,318	53,496	1,822	3.4	0.1	0.1
7 商工費	517,868	469,533	48,335	10.3	0.9	0.8
8 土木費	6,343,151	7,209,022	△ 865,871	△ 12.0	11.1	13.1
9 消防費	2,326,274	2,299,035	27,239	1.2	4.1	4.2
10 教育費	8,999,834	9,108,811	△ 108,977	△ 1.2	15.8	16.5
11 公債費	2,599,370	2,730,433	△ 131,063	△ 4.8	4.6	4.9
12 諸支出金	190,696	358,111	△ 167,415	△ 46.7	0.3	0.6
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
計	56,940,000	55,200,000	1,740,000	3.2	100.0	100.0

〔主な費目の増減内容〕

総 務 費

庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の全般的な管理に必要な経費

かたらいの道 市民スペース整備費4,000万円、住民情報系システム電子計算機借上料2,500万円、市民文化会館施設改修工事費2,200万円の減はあるものの、職員退職金2億6,400万円、国勢調査9,300万円、参議院議員選挙・都知事選挙・市議会議員選挙8,600万円、内部統合系情報システム電子計算機借上料5,000万円の増などにより、2億3,800万円、2.7%の増となった。

民 生 費

社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費

児童手当等支給事業費 4 億円、人件費 9,700 万円、心身障害者通所授産事業運営費補助金 4,500 万円の減があるものの、子ども手当支給事業費 19 億 5,800 万円、国民健康保険事業会計繰出金 5 億 4,800 万円、生活保護法による扶助費 4 億 4,500 万円、障害者福祉費扶助費 3 億 4,700 万円の増などにより、32 億 2,400 万円、18.4%の増となった。

衛 生 費

保健衛生や環境対策、ごみ処理などに必要な経費

クリーンセンター周辺道路整備事業費 4,300 万円、健康開発事業団補助金 3,300 万円、健康増進事業費 2,100 万円などの増があるものの、人件費 1 億 4,400 万円、クリーンセンター焼却・粗大施設改修工事費 1 億 3,700 万円、健康診査委託料 1 億 500 万円の減などにより、4 億 8,200 万円、7.9%の減となった。

土 木 費

道路、公園、市営住宅の維持・整備などに必要な経費

自転車対策事業費 3 億円、都市計画道路 7・6・1 号線事業費 1 億 900 万円などの増があるものの、公園用地購入費 5 億 6,300 万円、市営住宅建設事業費 2 億 4,900 万円、市道第 16 号線自治体管路設置事業費 1 億 3,900 万円、区画道路用地購入費 1 億 2,600 万円の減などにより、8 億 6,600 万円、12.0%の減となった。

教 育 費

学校教育や生涯学習などに必要な経費

ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業費 18 億 7,400 万円、調理業務委託料（武蔵野給食・食育振興財団）1 億 9,400 万円、図書館電算処理委託料 1 億 600 万円の増があるものの、小中学校施設改修工事費（桜野小増築を除く）15 億 700 万円、調理場改修工事費 3 億 1,800 万円の減などにより、1 億 900 万円、1.2%の減となった。

公 債 費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

市債の据置期間が経過し、元金の返済が始まったことによる増はあるものの、過年度分（総合体育館、平成 14 年度の武三保組合継承分）の償還終了及び平成 6 年度分の東京都区市町村振興基金の 3 件（利率 4.65%、2 億 8,300 万円）を繰上げ償還したことにより、1 億 3,100 万円、4.8%の減となった。

諸 支 出 金

行政目的の定まっていない経費

諸用地買戻しが 9,800 万円の減、また金利の低下により土地開発公社借入金利子補給分の補助金が減少し、1 億 6,700 万円、46.7%の減となった。

②性質別分類

性質別分類は、経済的性質を基準として分類するもので、義務的経費、投資的経費等に分けられる。

(単位：千円)

区分	平成22年度 予算額 (A)	平成21年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					22年度	21年度	
義務的経費	人件費	11,624,615	11,617,533	7,082	0.1	20.4	21.0
	扶助費	10,637,126	7,921,223	2,715,903	34.3	18.7	14.3
	公債費	2,599,370	2,730,433	△ 131,063	△ 4.8	4.6	4.9
小計	24,861,111	22,269,189	2,591,922	11.6	43.7	40.2	
物件費	13,580,248	13,229,440	350,808	2.7	23.9	24.0	
補助費等	5,826,942	5,890,427	△ 63,485	△ 1.1	10.2	10.7	
繰出金	4,421,489	3,961,796	459,693	11.6	7.8	7.2	
投資的経費	7,367,922	8,837,109	△ 1,469,187	△ 16.6	12.9	16.0	
その他	882,288	1,012,039	△ 129,751	△ 12.8	1.5	1.9	
計	56,940,000	55,200,000	1,740,000	3.2	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうちの支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、一般的に人件費・扶助費・公債費の合計額をさす。

人件費

報酬、給料、職員手当、共済費、恩給及び退職年金などの経費

職員定数適正化計画の推進などによる職員給 1 億 6,300 万円や期末勤勉手当 2 億 2,500 万円の減はあるものの、職員の退職がピークを迎えることによる退職手当 2 億 6,400 万円や共済組合負担金 8,900 万円の増などにより、700 万円、0.1%の増となった。

扶助費

生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費

子ども手当支給事業費 19 億 5,800 万円、生活保護法による扶助費 4 億 4,500 万円、障害者福祉費扶助費 3 億 4,700 万円、民間保育所運営委託料 1 億 2,200 万円、乳幼児及び義務教育就学児医療費助成費 1 億 1,900 万円などが増となったため、27 億 1,600 万円、34.3%の増となった。

公債費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

市債の据置期間が経過し、元金の返済が始まったことによる増はあるものの、過年度分（総合体育館、平成 14 年度の武三保組合継承分）の償還終了及び平成 6 年度分の東京都区市町村振興基金の 3 件（利率 4.65%、2 億 8,300 万円）を繰上げ償還したことにより、1 億 3,100 万円、4.8%の減となった。

物件費

賃金、旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費

健康診査委託料1億500万円、子宮がん検診委託料3,900万円などの減があるものの、調理業務委託料（武蔵野給食・食育振興財団）1億9,400万円、ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス庁用器具費1億1,400万円の増などにより、3億5,100万円、2.7%の増となった。

補助費等

市民や各種団体などに対する補助金などの経費

災害拠点病院機能向上費補助金1億5,000万円、健康開発事業団補助金3,300万円、プレミアム付商品券事業費3,000万円などの増があるものの、土地開発公社運営費補助金7,000万円、消防事務委託料6,700万円、心身障害者通所授産事業運営費補助金4,500万円の減などにより、6,300万円、1.1%の減となった。

繰出金

一般会計と特別会計相互間で支出される経費

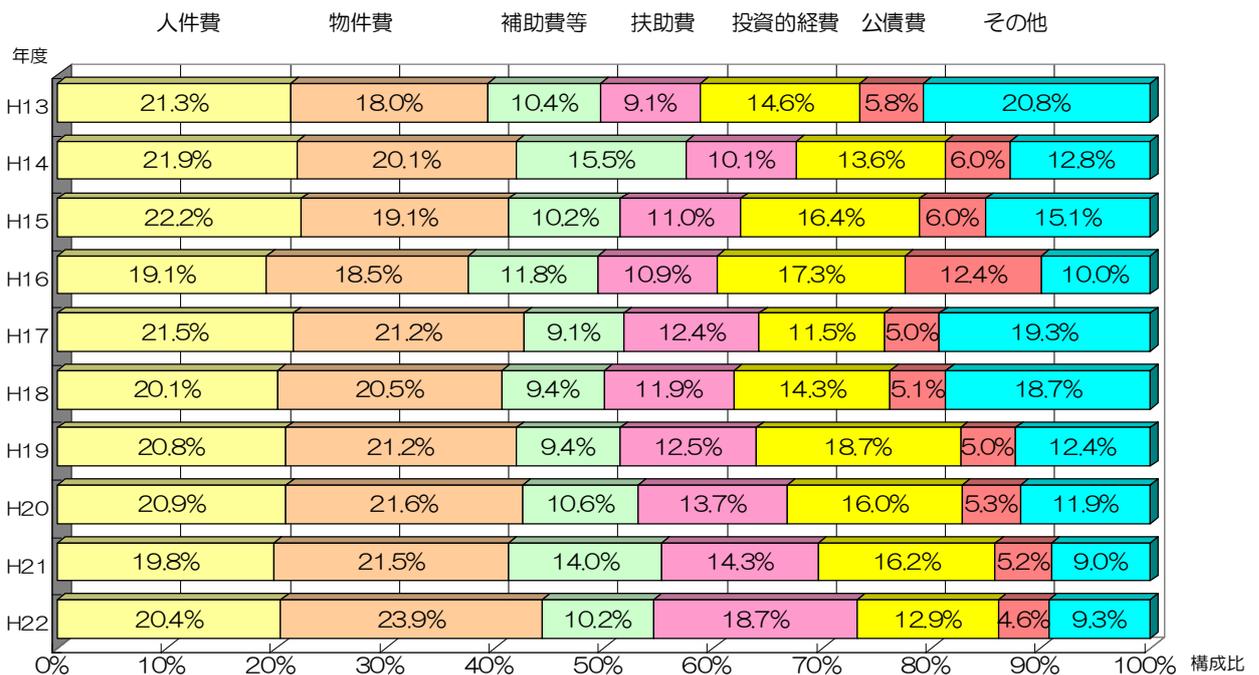
下水道事業会計への1億700万円、老人保健(医療)会計への2,300万円の減があるものの、国民健康保険事業会計への5億4,800万円、介護保険事業会計への2,600万円、後期高齢者医療会計への1,600万円の増により、4億6,000万円、11.6%の増となった。

投資的経費

道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設、用地購入等に要する経費

ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス建設費16億7,600万円、自転車対策事業建設負担金2億2,000万円などの増があるものの、小中学校施設改修工事費15億700万円、公園用地購入費5億6,300万円、共同調理場改修工事費3億1,800万円、市営住宅建設工事費2億4,900万円の減などにより、14億7,000万円、16.6%の減となった。

性質別の構成比の推移



※ 平成20年度までは決算額、平成21年度は補正後の予算額、平成22年度は当初予算額である。

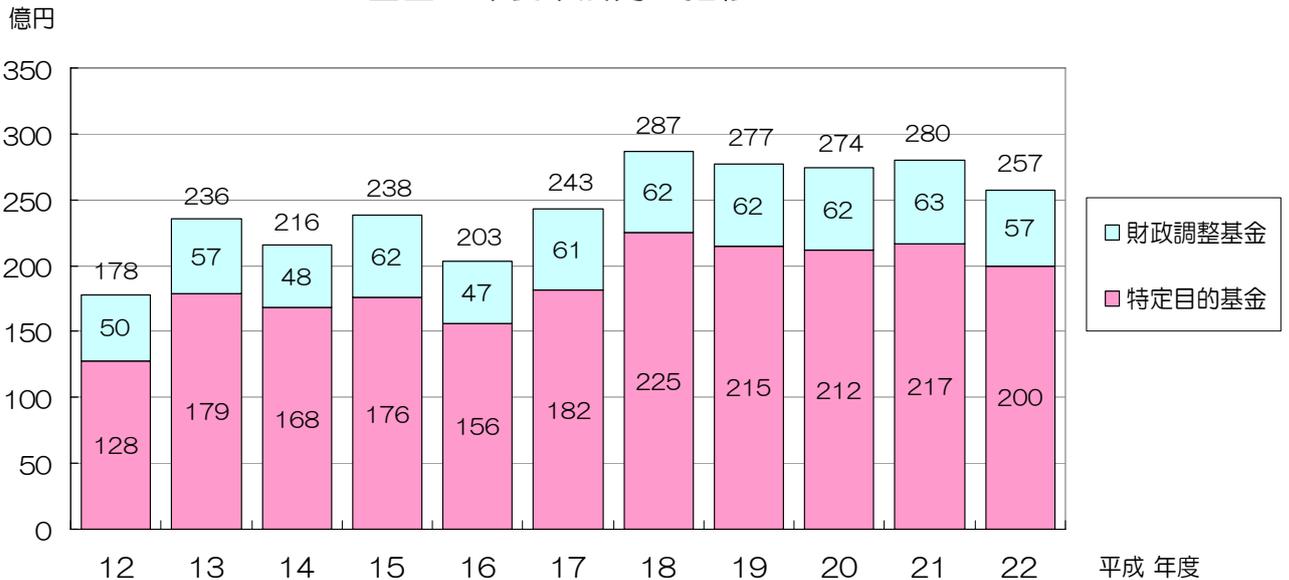
(3) 基金と市債

○基金の状況

平成22年度の基金取崩予算額は23億8,500万円、利子収入による積立金は1億1,500万円、平成22年度末の基金残高は、前年から22億6,900万円減少し、257億4,500万円の見込みとなる。

特定目的基金とは、地方自治体が条例の定めるところにより、学校をはじめ公共施設の建設など特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けるものである。また、財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものである。なお、平成22年度に基金を充てるおもな事業は、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業（公共施設整備基金）、桜野小学校増築工事（学校施設整備基金）、公園等建設事業（公園緑化基金）、鉄道連続立体交差事業（鉄道連続立体交差化整備基金）、職員退職金（財政調整基金）などである。

基金の年度末残高の推移



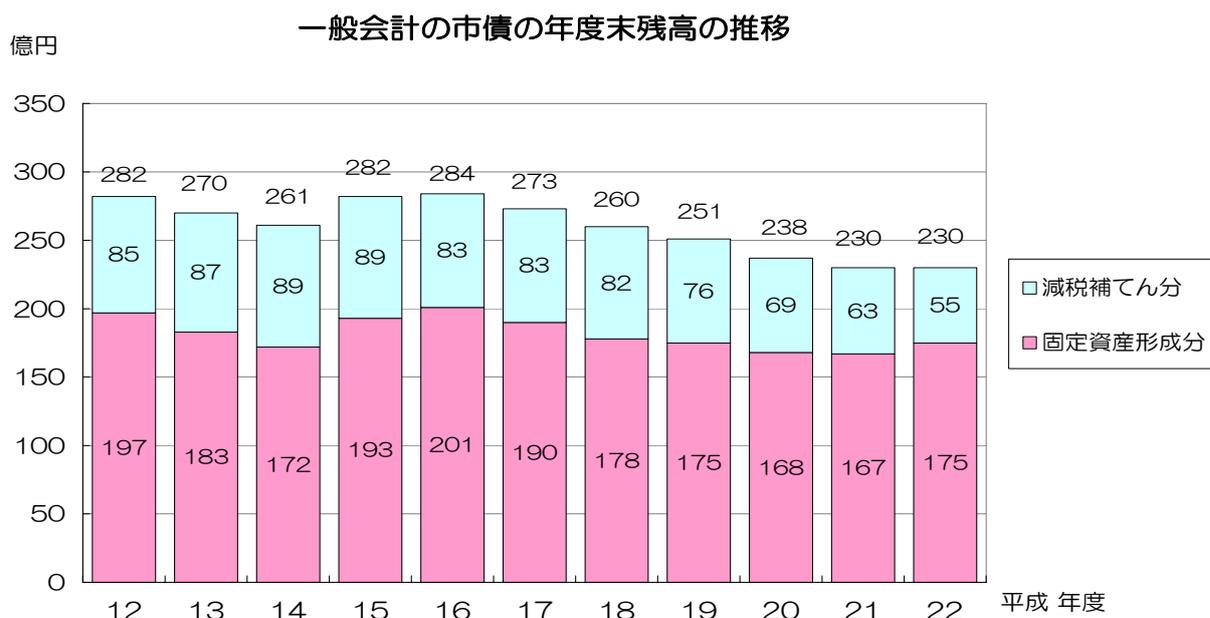
(単位: 千円)

区分	20年度末残高	21年度末残高 見込み	22年度末残高 見込み	22年度増減 見込み	
財政調整基金	6,244,026	6,260,368	5,684,523	△ 575,845	
特定目的基金	公共施設整備基金	6,694,682	7,223,470	6,241,548	△ 981,922
	学校施設整備基金	5,666,659	5,799,389	5,618,094	△ 181,295
	吉祥寺まちづくり基金	2,320,906	2,636,915	2,598,184	△ 38,731
	公園緑化基金	3,911,561	3,833,100	3,700,838	△ 132,262
	その他の特定目的基金	2,558,539	2,260,606	1,901,451	△ 359,155
合計	27,396,373	28,013,848	25,744,638	△ 2,269,210	

○市債残高の状況

平成22年度末の一般会計市債残高見込みは、前年から8,900万円減少し、229億5,500万円となる。うち減税補てん債は55億4,400万円。

市債（地方債）とは、地方自治体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものであり、証書借入れ又は証券発行の形式をとる。また、減税補てん債とは、地方税の特別減税などによる減収額を補てんするため、特例として認められる市債で、平成18年度に廃止された。なお、市債は、市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後5年から25年かけて返済していくことにより、建設時点の市民だけでなくその施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるといった政策的な観点より、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。



特別会計等を含めた借入金残高一覧表

(単位：千円)

会計区分	18年度末残高	19年度末残高	20年度末残高	21年度末残高 見込み	22年度末残高 見込み
一 般 会 計	25,957,573	25,052,399	23,791,841	23,044,073	22,954,679
下水道事業会計	3,236,896	3,473,833	3,566,735	3,616,741	4,274,984
介護保険事業会計	10,772	5,386	0	0	0
土地開発公社	11,205,000	8,705,000	11,275,000	9,761,063	9,366,093
合 計	40,410,241	37,236,618	38,633,576	36,421,877	36,595,756

5 複数年度にわたる建設事業

※平成23年度以降の予定額は現時点での概算額

◎鉄道連続立体交差事業（まちづくり推進課）

（単位：千円）

総事業費		4,953,194					
年 度		7 決算額	8 決算額	9 決算額	10 決算額	11 決算額	12 決算額
事業費		14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435
内訳	負担金	14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435
上記の財源	市 債		63,000	85,900	109,600	98,000	140,000
	基金繰入金						
	一般財源	14,303	2,266	567	6,007	17,632	12,435

年 度		13 決算額	14 決算額	15 決算額	16 決算額	17 決算額	18 決算額
事業費		82,965	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873
内訳	負担金	82,965	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873
上記の財源	市 債	73,700	152,000	354,000	326,000		
	基金繰入金					500,000	400,000
	一般財源	9,265	6,248	76,399	37,005	4,194	163,873

年 度		19 決算額	20 決算額	21 決算見込額	22 予算額	23 予定額	計
事業費		477,145	311,177	334,879	282,487	895,112	4,953,194
内訳	負担金	477,145	311,177	334,879	282,487	895,112	4,953,194
上記の財源	市 債						1,402,200
	基金繰入金	477,145	280,000	280,000	280,000	880,000	3,097,145
	一般財源	0	31,177	54,879	2,487	15,112	453,849

◎都市計画道路3・4・27号線事業（道路課）

（単位：千円）

総事業費		22,700		
年 度		22 予算額	23 予定額	計
事業費		7,200	15,500	22,700
内 訳	委託料			
	工事請負費	7,200	15,500	22,700
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	7,200	15,500	22,700

◎桜野小学校校舎等増築工事（教育企画課）

（単位：千円）

総事業費		686,131			
年 度	20 決算額	21 決算見込額	22 予算額	計	
事業費	26,911	350,519	308,701	686,131	
内 訳	委託料	26,911	9,890	8,149	44,950
	工事請負費		340,469	300,480	640,949
	備品購入費				
	土地購入費				
	その他		160	72	232
上 記 の 財 源	国庫支出金		4,419	14,703	19,122
	都支出金			20,000	20,000
	市 債		105,400		105,400
	基金繰入金		160,000	180,000	340,000
	一般財源	26,911	80,700	93,998	201,609

※国庫支出金は安全・安心な学校づくり交付金、都支出金は市町村総合交付金

**◎ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業
(武蔵野プレイス開設準備室)**

(単位：千円)

総事業費		7,364,934			
年 度		17 決算額	18 決算額	19 決算額	20 決算額
事業費		28,592	10,682	2,609,349	497,826
内 訳	委託料	28,592	9,452	60,512	100,682
	工事請負費				396,477
	備品購入費				52
	土地購入費			2,548,837	
	その他		1,230		615
上 記 の 財 源	国庫支出金			854,951	278,859
	都支出金				
	市 債				
	基金繰入金			1,700,000	100,000
	一般財源	28,592	10,682	54,398	118,967

年 度		21 決算見込額	22 予算額	23 予定額	計
事業費		1,154,984	2,970,611	92,890	7,364,934
内 訳	委託料	66,294	54,408	25,890	345,830
	工事請負費	1,039,615	2,739,720	45,000	4,220,812
	備品購入費	48,000	163,806	20,000	231,858
	土地購入費				2,548,837
	その他	1,075	12,677	2,000	17,597
上 記 の 財 源	国庫支出金	55,605	32,080		1,221,495
	都支出金		90,000		90,000
	市 債	731,000	1,600,000		2,331,000
	基金繰入金	180,000	600,000		2,580,000
	一般財源	188,379	648,531	92,890	1,142,439

※国庫支出金はまちづくり交付金、都支出金は市町村総合交付金。
 ※管理運営経費を除く建設事業費のみ記載。境南ふれあい広場公園を含む。

6 特徴ある事業

目次

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	
○介護の充実へ向け施設を整備	22
○安心して在宅生活を過ごすために	23
○中途障害者の自立を支援	24
○がん検診を受けましょう	25
2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	
○保育園などへの待機児解消を目指して	26
○安心して遊べる放課後へ	27
○学童クラブを充実します	28
○より利用しやすい図書館を目指して	29
○よりよい“学びの場”を提供するために	30
3 持続可能な環境共生都市づくり	
○むさしの“エコ”を進めます	31
○クリーンセンターの建て替えは全市民の問題です	32
○水と緑に親しむまちづくり	33
○環境に配慮したみちづくり	34
4 活力ある都市を目指して	
○農業の振興・農地の保全を推進	35
○武蔵野市の魅力を発信します	36
○地域の経済を活性化します	37
5 安全・安心なまちづくり	
○災害に備えた上下水道の整備	38
○新型インフルエンザの発生に備えて	39

6 市民文化の創造へ向けて	
○平和の創造のために	40
○武蔵野プレイス、着々と建設中	41
7 新たなまちづくりの時代へ	
○第五期基本構想・長期計画を策定	42
○良好な都市景観を創出	43
○住宅マスタープランを策定	44
○進化するまち N E X T - 吉祥寺	45
○中央地区を快適なまちに	46
○南北一体化で活気ある武蔵境へ	47
8 都市のリニューアルの推進	
○都市のリニューアルを推進します	48
9 市民との協働時代へ向けての取組み	
○市民活動の活性化と協働を推進	49
○コミュニティ活動の拠点を整備	50
10 健全な財政運営と市役所改革の推進	
○効率的・効果的な行政運営	51
○多角的な行政運営	52

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

介護の充実へ向け施設を整備

誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護保険施設の整備を推進する。

◎ 介護保険施設整備事業

予算額 125,250 千円

介護保険施設の整備を進め、中重度の要介護者、医療ニーズの高い要介護者、増加する認知症高齢者に対応するため、施設整備費用の一部を助成する。

- ・ 特別養護老人ホーム「さくらえん」(仮称) 平成22年5月開設予定
- ・ サテライト型小規模老人保健施設「あんず苑アネックス」(仮称) 平成22年7月開設予定
- ・ 認知症高齢者グループホーム 平成23年3月開設予定



▲特別養護老人ホーム「さくらえん」(仮称)完成予想図

担当：健康福祉部高齢者支援課

☎ 0422-60-1940

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

安心して在宅生活を過ごすために

すべての市民が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、在宅介護の支援や、地域の支援体制づくりを行う。

1 家族介護支援事業

予算額 18,763 千円

自宅で高齢者を介護している家族が、介護方法や介護者の健康づくりなどについての知識・技術などを高められるように、講座の開催や介護用品の支給などにより支援する。また、交流・情報交換の機会を提供し、介護している家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。



介護技術講座の様子▶
(平成21年3月)

2 緊急ショートステイ事業

予算額 9,000 千円

介護保険施設のベッドを確保し、虐待や家族の病気などにより緊急・一時的に介護が受けられない方のショートステイに対応する。

3 地域リハビリテーション推進事業

予算額 1,037 千円

住み慣れた地域での連携のとれた支援体制づくりを目的に、医療に関する研修やリーフレットの作成などを行う。

- ① ケアマネジャーへの医療に関する研修
- ② ヘルパーなど介護職員のための医療連携に関する学習会
- ③ 市民や関係機関向けリーフレットの作成、講座の開催など

担当：健康福祉部高齢者支援課
(1・2) ☎ 0422-60-1846
(3) ☎ 0422-60-1941

中途障害者の自立を支援

既存のサービスを利用できない、もしくは利用しにくい中途障害者を対象に、地域生活をより豊かにするために社会参加の機会を提供する。

* 中途障害者…病気や事故などのため突然障がいを持つことになった人

◎ 中途障害者デイサービス

予算額 15,212 千円

障害者福祉センター(八幡町 4-28-13)内で新たに障害者自立支援法の通所事業(生活介護)を展開する。自立訓練を終了した方などの仲間づくり、地域での役割づくり、また、更なる自立意欲を引き出すための社会体験の機会などを提供する。なお、手帳を所持せず通所資格を得られない方も、同じ内容のサービスを利用できるよう、市の独自事業として実施する。



▲障害者福祉センター

担当：健康福祉部障害者福祉課

☎ 0422-60-1847

がん検診を受けましょう

死亡原因の順位別でトップになっているがん対策として、5がん(大腸がん、胃がん、乳がん、子宮がん、肺がん)検診の受診率の向上を目指す。がんの早期発見・早期治療を目指し、受診しやすい体制づくりを推進するため、平成22年度は乳がん検診の充実を図る。

◎ 乳がん検診

予算額 51,403 千円

検診受診率の向上及び検診内容の整理・充実を目的として、これまでの「誕生日・偶数年齢・奇数年齢」の受診枠を変更し、対象者は2年に一度都合のよい時期に受診できるようにする。また、検診はマンモグラフィーと視触診を合わせて実施し、さらに検診後のフォロー体制の充実を図る。



担当：健康福祉部健康課

☎ 0422-51-0700

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

保育園などへの 待機児解消を目指して

子育て支援施策を効果的に行うために、施設や組織の整備を進める。

◎ 認証保育所の新設

予算額 48,216 千円

待機児童解消のために、三鷹駅北口に建設中の武蔵野 Towers 内に、市内9カ所目となる認証保育所を平成 22 年 4 月から開設する。設置・運営者は(株)ポピンズコーポレーション。

◎ 境こども園（仮称）開設準備

予算額 30,000 千円

市立境幼稚園の発展的解消に伴う認定こども園事業の基本設計委託および開設にあたり、全市域の子ども育成活動全般を支える機関として多様な事業展開を推進していくために法人化した一般財団法人武蔵野市子ども協会の職員体制整備の補助を行う。



担当：子ども家庭部保育課

☎ 0422-60-1854

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

安心して遊べる放課後へ

子どもを取り巻く環境が変化し、家庭や地域における子育て力の低下が指摘される中、すべての子どもたちが放課後を安全で健やかに過ごせるように活動場所を確保し、施策の充実を図る。

◎ 小学生の放課後施策の充実

予算額 3,050 千円

小学生の放課後施策推進協議会(仮称)の設置

地域子ども館、学童クラブ、児童館など、小学生の放課後施策全般について協議する機関を設置し、放課後と土曜日の過ごし方などについて検討する。

地域子ども館コーディネーター(仮称)の配置

地域子ども館あそべえと、地域・学校・市など子どもに関わる各機関との連携を強化し、安全管理や特別な配慮が必要な子どもへの対応などにきめ細やかに対応するため、地域子ども館コーディネーター(仮称)を子ども家庭課に配置する。



▲地域子ども館あそべえで放課後を過ごす子どもたち

担当：子ども家庭部子ども家庭課

☎ 0422-60-1851

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

学童クラブを充実します

市内 2 カ所の学童クラブを小学校内に移転し、クラブへの登所時の安全確保などを図るとともに、特別な配慮を要する障害児向けの学童クラブの運営に対し支援を行う。

◎ 学童クラブの小学校内への移転

予算額 77,836 千円

井の頭こどもクラブ、境南こどもクラブを、それぞれ吉祥寺西・境南コミセンから学校内に移設し、登所時の安全確保や校庭利用などによる育成環境の充実を図る。



◎ 障害児学童クラブの設立支援

予算額 15,579 千円

市内の民間学童クラブでの障害児受け入れを支援・推進するため、障害児を一定数以上受け入れる学童クラブへの運営費補助を充実させる。

担当：子ども家庭部児童青少年課

☎ 0422-60-1853

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

より利用しやすい図書館を目指して

現行システムが入れ替え時期を迎えることや、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス開設を踏まえ、ICタグを利用した貸出・返却業務の自動化を行い、増加する予約や貸出に対応し、貸出待ち時間の短縮を図る。また、利用者カードに、利用者から要望のあるリライトカード（書き換え可能なカード）を導入し、利便性の向上を図る。

◎ 図書館電算システム入替事業

予算額 136,637 千円

- ・中央図書館に、自動貸出機、自動返却機、予約資料棚等を導入し、待ち時間のない、スムーズな貸出・返却を実現する（吉祥寺図書館には一部機器導入）。
- ・貸出業務自動化により業務の効率化を図り、資料の案内やレファレンスなどのサービス向上を図る。
- ・利用者自身で貸し出し中の資料が確認できるよう、リライトカードを導入する。
- ・平成23年度に開設予定の「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」には、返却資料棚を導入し、返却処理などの効率化を図る。



▲中央図書館の館内

担当：教育部図書館

☎ 0422-51-5145

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

よりよい“学びの場”を 提供するために

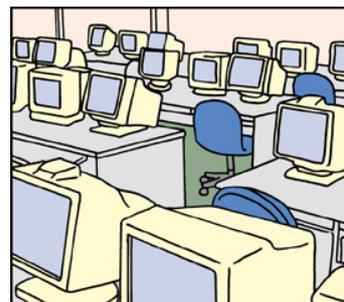
市立小中学校のパソコン教室の機器の老朽化への対応や、教員用のパソコン、教員用校務コンピュータネットワークを整備する。

また、家庭環境に対する配慮や福祉的な援助が必要とされる不登校児童・生徒などの問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーの配置を行う。

1 教育用コンピュータ（パソコン教室） 更改

予算額 13,291 千円

平成22年度と23年度の2カ年で、パソコン教室の機器の老朽化に対応するため、液晶プロジェクタや書画カメラなどの情報機器を導入し、ICT利活用授業の推進を図る。平成22年度は7校の更改を実施する。



2 教員用コンピュータネットワーク構築

6月に3校、9月末までに15校にパソコン設置を行い、市立小中学校全校への整備を完了する。情報セキュリティ対策を徹底し、校務事務を情報化・効率化することで、教材作成の時間等を増やし授業の質の向上を図る。

予算額 126,628 千円

3 スクールソーシャルワーカーの配置

予算額 3,449 千円



不登校対策を中心に、福祉関係に精通したスクールソーシャルワーカー（社会福祉士）1名を教育支援センターに配置し、学校からの情報や要請に基づき学校訪問・家庭訪問を行う。

また、家庭・学校・関係機関との橋渡しを積極的に行うとともに、現在配置されているスクールカウンセラー（臨床心理士）と連携し活動を行う。

担当：教育部指導課

☎ 0422-60-1897

教育部教育支援課

☎ 0422-60-1908

3 持続可能な環境共生都市づくり

むさしのの“エコ”を進めます

武蔵野市でできる地球温暖化対策として、環境基本計画の策定、公共施設・一般住宅の省エネ促進事業を実施し、温室効果ガスの排出を抑制する。

1 第三期環境基本計画策定事業

予算額 5,990 千円

新たな視点や二酸化炭素排出削減量の中期目標などを視野に入れて、現行計画を改定し、第三期環境基本計画を策定する。

2 公共施設省エネ改修事業

予算額 21,500 千円

市役所本庁舎の受変電設備を高効率化することで、受電時のロスをなくすとともに、建物のガラス面に断熱フィルムを張り、建物の断熱性を高め、空調に要するエネルギーを節減する。

3 二酸化炭素排出削減行動助成事業

予算額 17,150 千円

これまで戸建住宅の居住者に限定していた住宅用太陽光発電設備の設置助成対象に、分譲集合住宅の管理組合を加えることで、設置住宅件数のさらなる増大を図る。

太陽光パネルを設置した戸建住宅▶



担当：環境生活部環境政策課

☎ 0422-60-1841

3 持続可能な環境共生都市づくり

クリーンセンターの建て替えは 全市民の問題です

現在のクリーンセンターの耐用期限内の平成 29 年度を目標に、安全・安定的なごみ処理を継続できるよう新施設を建設する。また、生ごみを堆肥化するパイロット事業や剪定枝葉の資源化などによりクリーンセンターでのごみ焼却量を削減する。

1 新武蔵野クリーンセンター（仮称） 建設事業

予算額 52,531 千円

市民や学識経験者などの参加による「施設基本計画策定委員会」を設置し、ごみ処理施設の技術的な検討などを行うほか、周辺住民の意見を反映する「施設・周辺整備協議会」を設置し、環境負荷の軽減や周辺と調和した施設づくり・周辺整備を目指す。



▲「建て替えの必要性」見学会(平成 21 年 11 月)

また、クリーンセンターやごみ処理問題に関する啓発イベントを実施する。

2 クリーンセンター周辺道路整備事業

予算額 43,000 千円

クリーンセンター施設周辺整備の一環として、周辺地域のまちづくりの核となるよう、市道第 41 号線の NTT 武蔵野研究開発センタ北側隣接部にエコセメント製のインターロッキングブロックによる景観舗装を施した歩道を整備する。



▲市道第 41 号線の現状(左)と施工イメージ

3 生ごみ減量パイロット事業

予算額 6,268 千円

将来のごみ処理における分散配置のあり方を探るとともに、生ごみの減量を推進するため、生ごみ回収ホッパー・バケツなどを使用した生ごみ処理回収システムの実証実験を行う。

担当：(1・2) 環境生活部クリーンセンター ☎ 0422-54-1221
(3) 環境生活部ごみ総合対策課 ☎ 0422-60-1802

3 持続可能な環境共生都市づくり

水と緑に親しむまちづくり

公有地の緑の拠点（公園・緑地）を整備し、緑化の推進と緑のネットワーク化を図る。また、生態系に配慮した水辺空間の保全・再生により、緑豊かな住環境を整備する。

◎ 水と緑のネットワーク事業

予算額 1,073,324 千円

緑の拠点事業

境南中央公園の施設整備、はなもみじ公園の用地買収による公園の拡充を行う

水辺環境事業

市内唯一の一級河川である仙川を自然護岸の環境に整備するため、設計・施工・維持管理を行う



担当：都市整備部緑化環境センター

☎ 0422-60-1864

3 持続可能な環境共生都市づくり

環境に配慮したみちづくり

雨水流出抑制や地下水涵養^{かんよう}、路面温度低減によるヒートアイランド現象緩和などを目的に、透水性舗装および遮熱性舗装による道路整備事業を行う。

◎ 環境舗装事業

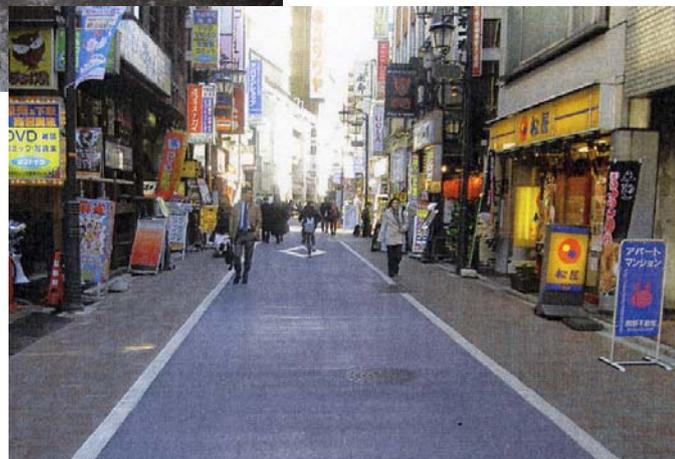
予算額 240,600 千円

- ・透水性舗装 市全域の生活道路を対象に実施する。14 路線(約 10,900 m²)を予定
- ・遮熱性舗装 事業効果の高い路線を対象に試験施工を実施する。市道第 16 号線(約 650 m²)を予定



▲透水性舗装施工例

遮熱性舗装施工例▶
(パークロード)



担当：都市整備部道路課

☎ 0422-60-1861

4 活力ある都市を目指して

農業の振興・農地の保全を推進

都市農業の積極的な振興を図っていくため、平成 18 年 11 月に策定した武蔵野市農業振興基本計画の見直しを行う。

◎ 武蔵野市農業振興基本計画の見直し

予算額 1, 397 千円

策定後 5 年後の見直しを行なうこととしていた農業振興基本計画について改定委員会を設置し、計画の見直しを行う。

- ・ 改定委員会の設置
- ・ 改定委員会予定開催回数:6回
- ・ アンケート調査の実施(市民向け・農業者向け)
- ・ 市民、農業者の意見ヒアリング実施



▲市内の農地

担当：環境生活部生活経済課

☎ 0422-60-1833

4 活力ある都市を目指して

武蔵野市の魅力を発信します

平成 19 年度に策定した武蔵野市観光推進計画に基づき、観光事業を推進するための組織である観光推進機構（仮称）を設立する。

◎ 観光推進機構（仮称）設立事業

予算額 28,000 千円

平成 22 年 7 月を目途に武蔵野市の観光事業を総合的に担う組織となる観光推進機構（仮称）を設立。武蔵野商工会館 1 階に観光推進機構（仮称）事務局を設置して観光情報の収集・案内を行うとともに、ウェブ上にポータルサイトを開設し、市の観光情報を効果的に発信する。



①成蹊のケヤキ並木 ②井の頭自然文化園（ゾウのはな子） ③関前公園 ④武蔵境舞祭
⑤吉祥寺サンロード ⑥吉祥寺秋まつり ⑦中央通りの桜

担当：環境生活部生活経済課

☎ 0422-60-1832

4 活力ある都市を目指して

地域の経済を活性化します

武蔵野市地域経済活性化ビジョンに基づき、地域商品券の発行や商店街の情報発信について補助を行うとともに、厳しい雇用情勢をかんがみ、雇用支援事業を実施する。

予算額 30,000 千円

1 プレミアム付商品券事業

依然として厳しい状況に直面している市内経済の活性化のため平成21年度に引き続き、第3弾の『元気だせ武蔵野商品券』（プレミアム付商品券）を発行する（発行総額：2億2,000万円）。



◀ 昨年発行された「元気だせ武蔵野商品券」A券（左）とB券（右）

2 商店街情報発信事業

予算額 6,000 千円

商店会の活性化を図るため、市民協働方式で商店街の情報を発信し、商店街の魅力をPRする事業を実施する。

3 ヘルパー養成研修受講支援事業（ケアキャリア22）

緊急経済対策として、高齢の方・障がいのある方が安心して生活を送るために必要な福祉人材を確保する

予算額 1,220 千円

ため、(財)武蔵野市福祉公社ホームヘルプセンター武蔵野で実施しているホームヘルパー2級養成講習会を修了後、「武蔵野市介護サービス事業者リスト」（高齢者サービスの手引き別冊）に掲載されている事業所に勤務または登録した講習生に、受講料の8割をキャッシュバックする。

内容：受講料 50,000 円（テキスト・実習費など含む）のうち、講習生が上記の事業所に勤務または登録して一定時間活動した場合は 40,000 円をキャッシュバック

* 現在3級ヘルパーとして活動している方は、受講料 10,000 円で受講可

担当：(1・2) 環境生活部生活経済課 ☎ 0422-60-1832
(3) 健康福祉部高齢者支援課 ☎ 0422-60-1925

災害に備えた上下水道の整備

災害に強いまちを目指し、上下水道網の整備を推進する。

1 上水道耐震化工事

予算額 481,905 千円

災害時にも安全でおいしい水の安定供給ができるように、新設および耐震性に劣る配水管(鉄管・ビニル管)を耐震性ダクタイル鉄管に取り替え、配水管網を整備する。

2 合流式下水道改善事業

予算額 1,256,231 千円

公共水域の水質環境の向上と浸水被害の軽減を図るため、合流式下水道の吐き口から越流する未処理下水対策のために、貯留施設を整備する。平成21年度に行った基本設計の結果を基に施設の詳細設計や整備費用などについて実施設計を委託するとともに、貯留施設整備予定地(法政高校跡地)を取得し、平成23年度の貯留施設整備工事着工を目指す。

3 雨水貯留浸透施設設置事業

予算額 46,700 千円

市内市立小・中学校(全18校)のうち、1校(第五小学校)に雨水貯留浸透施設を設置する。

※平成21年度末で、中学校3校、小学校5校、公園2カ所に設置。合計4,800トン分の雨水浸透施設整備が完了。

中学校校庭に雨水貯留浸透施設を設置(第五中学校)▶



担当：(1) 水道部工務課 ☎ 0422-52-0735
(2・3) 都市整備部下水道課 ☎ 0422-60-1868

新型インフルエンザ発生に備えて

新型インフルエンザの発生に備え、対策物品の調達などを行う。

◎ 新型インフルエンザ対策

予算額 8,644 千円

「武蔵野市新型インフルエンザ対策行動計画」に基づき、強毒化に備えて、所要の物品を調達するとともに、発生時の混乱を最小限にとどめるため、事前に予防などに関する情報提供を行う。

また、新型インフルエンザ患者の急増に対応するための休日診療所および休日調剤薬局の開設に備える。



担当：健康福祉部健康課

☎ 0422-51-0700

6 市民文化の創造へ向けて

平和の創造のために

今年で戦後 65 年を迎えることから、平和イベントを実施し、市民に平和の尊さを発信するほか、平和の大切さを確認する日として 11 月 24 日を「武蔵野市平和の日（仮称）」に制定する。

1 武蔵野市平和施策懇談会

予算額 1,314 千円

有識者・公募市民からなる武蔵野市平和施策懇談会を組織し、「武蔵野市平和の日（仮称）」の制定を含めた、平和施策のあり方について検討を行う。



◀ 商工会館で開催した平和事業パネル展示
（平成 21 年 8 月）

2 武蔵野市平和の日制定に向けて

予算額 945 千円

戦争で犠牲になった先人に哀悼を捧げるとともに、平和の大切さについて考える日としての「武蔵野市平和の日（仮称）」制定に向けて、武蔵野町が初空襲を受けた11月24日をより多くの市民に周知するため、平和に関するシンポジウムやコンサートなどのイベントを開催する。

3 平和案内説明板の設置

予算額 441 千円

市内に現存する戦争や平和にゆかりのあるポイントに案内説明板を設置する。

担当：企画政策室市民協働推進課

☎ 0422-60-1829

武蔵野プレイス、着々と建設中

◎ ひと・まち・情報 創造館
武蔵野プレイス建設事業

予算額 3,057,781 千円

武蔵境駅南口の農水省食糧倉庫跡地に、「図書館」をはじめとした「生涯学習」「青少年活動支援」「市民活動支援」の四つの機能を持つ、子どもたちからお年寄りまでが交流できる場として、地域社会の活性化を深められるような活動支援型の公共施設を建設中（平成 23 年 7 月開館予定、指定管理者は(財)武蔵野スポーツ振興事業団を改組した(財)武蔵野生涯学習振興事業団を予定）。

また、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスのオープンに向け、施設北側に境南ふれあい広場公園を合わせて整備するほか、周知のためのプレイベントやワークショップなどを実施予定。



▲工事現場の様子(平成 22 年 1 月末)



▲武蔵野プレイス完成イメージ



▲小学生を対象にした工事現場見学会
(平成 21 年 8 月)

担当：教育部武蔵野プレイス開設準備室

☎ 0422-60-1943

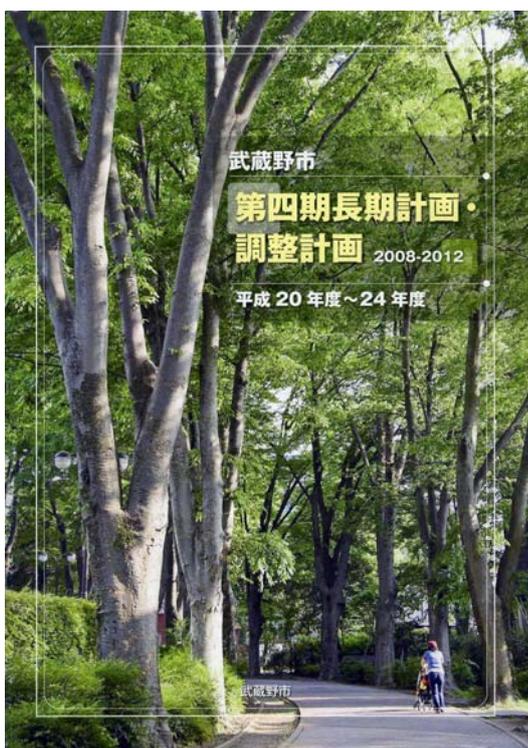
第五期基本構想・長期計画を策定

武蔵野市のまちづくりの基本指針となる、第五期基本構想・長期計画の策定を行い、武蔵野市が目指すべき方向性を定めるとともに、施策の体系化を行う。

◎ 第五期基本構想・長期計画策定

予算額 12,634 千円

平成22年度～23年度の2カ年をかけ、平成24年度～33年度の10年間を計画期間とする本市の基本構想・長期計画を市民参加により策定する。



▲平成20年に策定された第四期長期計画・調整計画

担当：企画政策室企画調整課

☎ 0422-60-1801

7 新たなまちづくりの時代へ

良好な都市景観を創出

社会情勢の変化等を踏まえ、まちづくりの基本となる都市マスタープランの見直しを行うとともに、良好な都市景観を創り出すために、優先的に整備する路線の整備を図る。

1 都市マスタープランの見直し

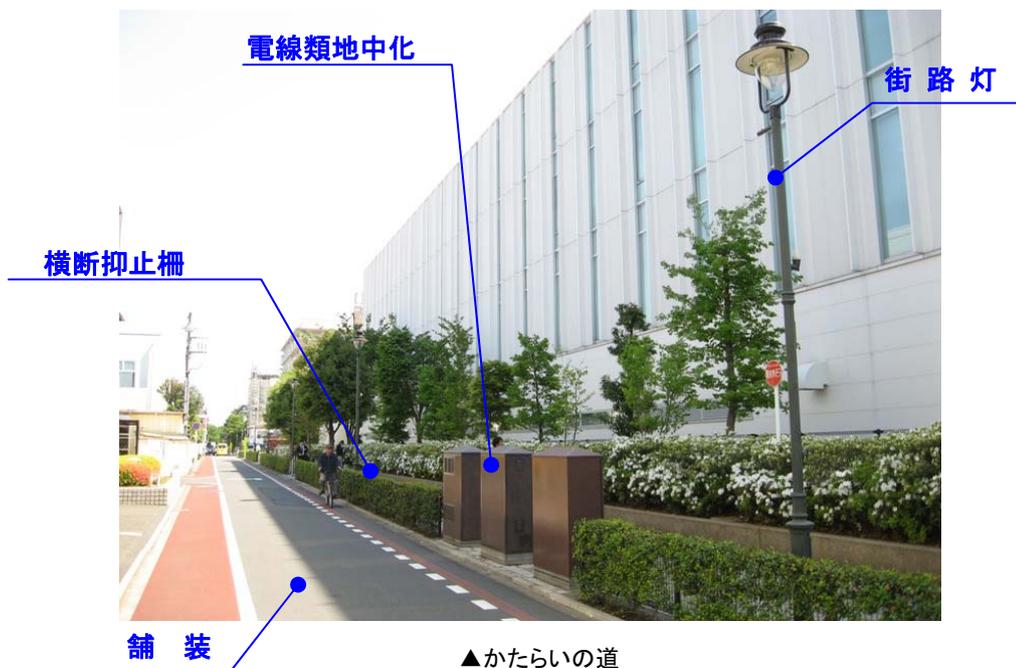
予算額 9,609 千円

現行の都市マスタープランに示されている理念、将来の都市像および方針を継承しながら、社会情勢や現行制度、都市基盤の整備状況などの変化を反映するとともに、市民ニーズが高い景観に関する方針などを新たに追加する。

2 景観道路事業

予算額 15,100 千円

美しい道路景観、歩いて楽しい道づくりや安全・安心なまちづくりを目的に、景観整備路線の事業化を図る。



担当：(1) 都市整備部まちづくり推進課 ☎ 0422-60-1872
(2) 都市整備部道路課 ☎ 0422-60-1855

住宅マスタープランを策定

今後 10 年間の住宅政策のあり方を示し、まちづくりや福祉の視点も含めた総合的な住宅施策の展開を図る。

◎ 第三次住宅マスタープランの策定

予算額 7, 151 千円

住生活に関する政策動向や、国、都および先進事例動向などを把握し、武蔵野市における住宅政策の方針、施策を検討し、第三次住宅マスタープランを策定する。

高齢者などに対する居住安定への支援や安全・安心な住まいづくりなど、居住環境を取り巻く多様な課題に対応するきめ細やかで適切な支援策等を検討する。



▲平成 20 年 3 月に建て替えた市営北町第 1 住宅。
太陽光発電用のパネルを壁面に設置

担当：都市整備部住宅対策課

☎ 0422-60-1905

進化するまち NEXT-吉祥寺

-歩いて楽しいまちづくり-

吉祥寺駅周辺の再開発において集客の維持を目指すとともに、駐輪場を整備し、歩いて楽しい吉祥寺のまちを創造する。

1 NEXT-吉祥寺活性化事業

予算額 10,000 千円

吉祥寺駅周辺の大型店舗改修を契機に、さらなる地域活性化に資する各種イベントなどを開催し、積極的な集客事業を展開していく。

2 (仮称) 吉祥寺大通り北自転車等駐車場の整備

既存平置き式駐車場を、荷捌き施設として整備することに伴い、上部を立体駐輪場として一体整備し、吉祥寺地区の放置自転車を減少させる。

予算額 277,970 千円

3 助成制度による民営公共自転車等駐車場整備

御殿山に整備される民間の駐輪場建設を支援・促進し、建設費用の一部を補助し、放置自転車を減少させる。

予算額 30,000 千円

4 歩道上の利用登録駐輪場閉鎖に伴う放置防止指導の強化

吉祥寺大通りの歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖することで、歩きやすい歩道を確保し、緊急活動を円滑にし、景観の向上を図る。また、放置禁止となる歩道に自転車を放置されないよう、放置防止指導を強化する。

予算額 27,979 千円

5 吉祥寺方式物流対策委員会運営支援

吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と、継続的かつ円滑な活動に向けて運営支援を行う。また、路上駐停車車両の実態調査を行い、実施済事業の効果を検証する。

予算額 5,000 千円

担当：(1) 環境生活部生活経済課	☎ 0422-60-1832
(2・3・4) 都市整備部交通対策課	☎ 0422-60-1860
(5) 都市整備部吉祥寺まちづくり事務所	☎ 0422-21-1118

中央地区を快適なまちに -歩いて楽しいまちづくり-

三鷹駅周辺の道路環境の整備を進め、人にやさしいまちづくりを進める。また、市民の活動・交流などを促進するため、市民スペースを設置する。

1 歩道上の利用登録駐輪場閉鎖 に伴う放置防止指導の強化

予算額 18,032 千円

中央大通りの歩道上の利用登録駐輪場を閉鎖することで、歩きやすい歩道を確保し、緊急活動を円滑にし、景観の向上を図る。また、放置禁止となる歩道に自転車を放置されないよう、放置防止指導を強化する。

2 都市計画道路 7・6・1 号線 (御殿山通り) 事業

予算額 238,403 千円

三鷹駅から井の頭公園へのアクセス道路として、玉川上水の景観に配慮した歩行者に優しい快適な道路整備を図る。用地買収のほか、人道橋設置に向けた橋りょうプランの検討や玉川上水の自然調査を行う。

3 市道第 16・129 号線道路改修工事

予算額 38,000 千円

三鷹駅から市民文化会館に向かう「かたらいの道」の整備の一環として、市道第 16・129 号線を拡幅整備し、車道部分の遮熱性舗装、歩道部分の保水性ブロック舗装などを施工する。(平成 22 年度整備完了予定)

4 かたらいの道 市民スペース の管理運営

予算額 10,044 千円

市民の活動・交流などを促進し、また地域社会の文化と福祉を増進するため、三鷹駅北口に建設される大型マンション内に「かたらいの道 市民スペース」を設置する。

5 交通事業者・市・国の協働による 三鷹駅北口駅前広場の交通機能の改善

予算額 20,100 千円

公共交通利用者の利便性向上を図りつつ、車両と歩行者の交錯を改善するため、市民交通計画に基づき、バス乗降場を再編し、老朽化したバス停留所の改修と利用者に分かりやすい総合案内板の整備を行う。

担当：都市整備部交通対策課

①☎0422-60-1860

⑤☎0422-60-1859

都市整備部道路課

②☎0422-60-1855

③☎0422-60-1861

企画政策室市民協働推進課

④☎0422-60-1831

7 新たなまちづくりの時代へ

南北一体化で活気ある武蔵境へ

JR中央線と西武多摩川線の鉄道連続立体交差事業を契機に、駅周辺の南北道路の整備や地域の活性化を図り、南北地域一体のまちづくりを推進する。

1 鉄道連続立体交差事業

予算額 374,095 千円
(積立基金1,108千円と合算)

JR中央線(三鷹駅～立川駅間)他連続立体交差事業の事業費の一部を負担、側道整備に係る用地取得費のほか、事業の経緯を鉄道事業史としてまとめる。

2 武蔵境駅周辺開発事業

予算額 110,000 千円

鉄道連続立体交差事業に合わせ、西の玄関口としてふさわしい駅前空間を創出するため、北口駅前広場や駅周辺の南北道路(市道第291号線、都道123号線)を整備し、地域の活性化を図る。

3 武鉄中付第1～3号線の電線類地中化

武鉄中付第1～3号線の整備に向け、電線類地中化などを図る。

予算額 27,260 千円



▲ 武蔵境駅周辺の上記事業の整備予定箇所

4 武蔵境活性化委員会補助事業 (商工会議所補助事業)

予算額 2,840 千円

「ほっとタウン武蔵境」をキーワードに、武蔵境活性化委員会により計画された事業のうち、ホームページや紙媒体広報物の作成などの情報発信にかかる経費、地域を活性化するイベント実施にかかる経費を補助する。

担当：(1) 都市整備部まちづくり推進課	☎ 0422-60-1872
(2) 都市整備部武蔵境開発事務所	☎ 0422-52-0151
(3) 都市整備部道路課	☎ 0422-60-1855
(4) 環境生活部生活経済課	☎ 0422-60-1832

都市のリニューアルを推進します

都市基盤整備の根幹である上下水道やクリーンセンターの再整備、利用者の視点に立ったまちづくり、交通対策の推進などを行う。

1 交通バリアフリー基本構想の改定

予算額 8,792 千円

バリアフリー新法の施行を受け、新たに公園、建築物などをバリアフリー化の対象施設として基本構想へ追加する。また、平成 23 年以降にバリアフリー化を予定する事業について、昨年度に実施した意向調査や、事業の進捗状況を踏まえ、有識者、関係団体代表、民間事業者などを交えて検討し、事業内容を更新する。

2 市民交通計画等の改定

予算額 5,000 千円

現行の第2次市民交通計画などを踏まえ、少子高齢化といった社会情勢の変化、都市基盤整備の推進による交通環境の変化等に対応した改定を行う。

※ 都市基盤機能の更新

市民生活や都市活動を進めていくうえで課題となる都市基盤整備として、上下水道の再整備・維持補修や、平成 29 年度の新武蔵野クリーンセンター稼働を目指した計画策定・調査などを行うほか、公共施設の適正な維持管理など、計画的に都市リニューアルを行う。



▲現在稼働中のクリーンセンター

担当：(1) 都市整備部まちづくり推進課 ☎ 0422-60-1872
(2) 都市整備部交通対策課 ☎ 0422-60-1859

9 市民との協働時代へ向けての取組み

市民活動の活性化と協働を推進

地方分権が進み新たな自治体・市民のあり方が問われている時代に当たり、武蔵野市における市と市民の協働、市民の市政への参画をより一層促すための取組みを行う。

1 分権と協働の時代における自治体運営の検討

予算額 999 千円

平成 20・21 年度に引き続き、「自治体運営の基本ルール」の必要性について議論を行う機運を高めていくためにシンポジウムや勉強会を開催する。

シンポジウムの様子(平成 22 年 1 月)▶



2 協働サロン活性化・協働推進事業

予算額 1,937 千円

市民活動団体の活動拠点として市民協働サロンを活性化し、団体を支援するための講座などを行う。



◀ 2周年イベントでにぎわう市民協働サロン
(平成 21 年 9 月)

担当：(1) 企画政策室企画調整課 ☎ 0422-60-1801
(2) 企画政策室市民協働推進課 ☎ 0422-60-1830

9 市民との協働時代へ向けての取組み

コミュニティ活動の拠点を整備

施設面積が狭あいであり、設備的にも十分とはいえない八幡町コミュニティセンターを建て替えることにより、地域におけるコミュニティ形成を推進する。

◎ 八幡町コミュニティセンターの建替え

予算額 28,694 千円

第6期武蔵野市コミュニティ市民委員会による提言を受け、八幡町コミュニティセンター（八幡町4-10-7）の建替えに向けた各種事前調査、基本設計、実施設計を行う。



▲建替え予定の八幡町コミュニティセンター

担当：企画政策室市民協働推進課

☎ 0422-60-1830

効率的・効果的な行政運営

透明性が高く、効率的で効果的な行政運営や市民サービスを行うために、事務事業の見直しと補助金支出の見直しを行った。

1 事務事業見直し

前年度からの削減額 360,179 千円

平成 21 年に策定した第三次武蔵野市行財政改革を推進するための基本方針と同アクションプランに基づき、事務事業見直し基準を策定し、行財政改革推進本部および各課において主体的に事務事業の廃止・縮小・見直しを行い、51 件、3 億 6,017 万 9 千円を削減した。

2 補助金見直し

前年度からの削減額 168,024 千円

平成 20 年度に補助金検討委員会において提言された方法により、すべての補助金についての再評価を行った。98 件の補助金を見直し、8,892 万 7 千円を削減した。このほか、廃止した 10 件の補助金で 7,909 万 7 千円を削減した。

担当：(1) 企画政策室企画調整課 ☎ 0422-60-1801
(2) 財務部財政課 ☎ 0422-60-1803

多角的な行政運営

市の設立による財団法人とともに、市の課題解決に立ち向かっていきます。

◎ 財団法人との連携

市財政援助出資団体である財団法人は、市政の代替・補完機能を担ってきている。今後、市との連携・協力・役割分担等を明確にしながら、新たな行政課題などに対してその機能を発揮することを目的として、財団法人を設立または改組する。

- ①全市域の子ども育成活動全般を支える機関として多様な事業展開を推進していくため、武蔵野市子ども協会を一般財団法人化(平成 22 年 2 月)。
- ②安定的・効率的に学校給食を提供するとともに、食育の推進を図っていくため、一般財団法人武蔵野給食・食育振興財団(仮称)を設立(平成 22 年 3 月)。
- ③「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」(平成 23 年 7 月開設予定)の開設準備や市民の生涯学習活動をさらに充実するため、財団法人武蔵野スポーツ振興事業団を財団法人武蔵野生涯学習振興事業団に改組(平成 22 年 4 月)。



▲0123 はらっぱ

(一般財団法人武蔵野市子ども協会によって運営されています)

担当：企画政策室企画調整課

☎ 0422-60-1801